

情報

～Pepper を使って読み聞かせを行おう～

新入生に向けて、人形ロボットである Pepper を用いた読み聞かせを行うことを目的に、話し方や、挿絵や動きなどの表現を工夫してプログラムを作成する学習活動をとおして、自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合わせが必要か、どのように改善していけば、より意図した動きに近づくかを論理的に考える力を育成する。

導入

◆ Pepper 専用プログラミングソフト「Robo Blocks」の使い方を知る。

- ・新入生が楽しめる読み聞かせ会について考える。
- ・「話す」「動かす」「画像を表示する」などのプログラミングの方法を知り、作品づくりの見通しをもつ。

展開1

◆ Robo Blocks を使って読み聞かせ用のプログラミングに取り組む。

- ・どうすれば新入生が楽しんでもらえる読み聞かせになるか、工夫について考える。
- ・話し方や表現方法など、自分たちが考えた工夫が意図通りになるように、Robo Blocks を用いてプログラムを作成する。
- ・Pepper が意図した動きをするかについて確認する。

展開2

◆ グループで交流しプログラムを改善する。

- ・聞き手によりよく伝わる読み聞かせになっているか、他のグループと交流する。
- ・他のグループの作品の良い点や改善点を考える。
- ・グループ交流をもとに読む速さや動きなどのプログラムの改善を図る。

まとめ

◆ 事前発表会を開き、学習を振り返る。

- ・発表会をとおして、プログラムの作成過程で工夫したことやよくできたところを振り返る。

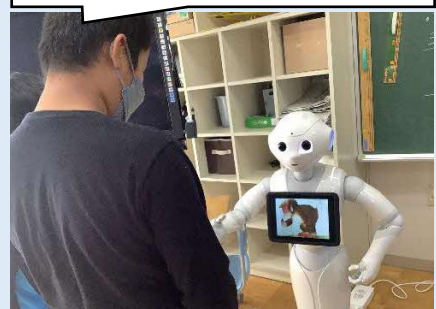
授業の様子・留意点

学習の見通しをもつために、Pepper を操作する。



【Pepper を操作する様子】

グループで交流して、他の発表の改善点を見つける。



【プログラムの確認をする様子】

「読み聞かせ」事前発表会を開き、学習を振り返る。



【事前発表会の様子】